



まだまだ続く「金農感謝」

10連休を挟み「平成」から「令和」へ、元号が新しくなるとともに何となく気分も一新するような感じを抱いている人も多いのではないかと思います。

マスコミも含め世間の話題は、当分の間、皇室関連の出来事や東京2020オリンピック・パラリンピックを控えてのスポーツ関連の動きに向かうことと思われます。

足下では、プロバスケットボールの我が秋田ノーザンハピネッツが、最後の踏ん張りでB1残留が叶いホッとしているところで、これからはサッカーJ3リーグのブラウブリッツ秋田の戦績の行方に注目が集まることでしょう。

そして、本格的な野球シーズンに入り、昨年の金足農業高校野球部の活躍が多くの県民の脳裏に残っているなか、今年の夏の甲子園大会出場をかけたの県予選大会は例年以上に盛り上がるのではないかと思います。

居酒屋などでは、昨年の金農野球部のスリリングな試合の状況を興奮気味に語り合いながら、今年の本県の代表校の予想話を肴に杯を傾けている高校野球ファンの姿も目にします。

私自身は歳の上からも「巨人、大鵬、卵焼き」の世代で、原監督とも親しくさせて頂いていることもあり、プロ野球では巨人ファンを標榜していましたが、今年になってからは、もっぱら日本ハムファイターズの戦績が気になり、毎朝、新聞のプロ野球記事で「吉田輝星選手」の名が出ていないか確認するようになりました。

そのようななかで先日、6月11日からの広島との3連戦で、いよいよ1軍登板の機会があるとの記事を目にし、目下、ワクワク感と果たしてどうなるのかという心配感が交錯している状況で、「神様・仏様、吉田を男にして下さい」という私と同じ思いの人も相当多いのではないかと思います。

金農には、もうひとつ美味しい「金農パンケーキ」があり、去年は野球部の活躍にも乗って人気も急上昇しましたが、今年はさらにバージョンアップしました。

先日、金農の生徒さんがブルーベリーを練り込んだパンケーキにブルーベリージャムを挟んだ新商品と、男鹿の塩を使ったレモンクロワッサンの発売を前に、試食させていただけるということで県庁まで商品を持ってきてくれました。

何せ美味しいものは何でも完食モットーの「食人」を標榜する自分、生徒さん方の説明を聞く間もなく、いきなり、むしゃむしゃと一気に平らげて、口の周りにクリームをつけたまま、「ああ、うめがった」、ハッと顔を上げたら生徒さん方「知事は食べ物に卑しそう」というあきれ顔。

でも、説明抜きに「なもかも、うめがった」、ありがとう、再び金農感謝です。